

名古屋高等裁判所刑事第2部  
裁判長 鹿野伸二 殿

名張毒ぶどう酒事件第10次再審・異議審  
**全面証拠開示・真摯な審理を行い、  
名張毒ぶどう酒事件の再審開始を求める要請書**

鹿野伸二裁判長の下で15年ぶりに開示された懇親会参加者の供述調書は、あらためて奥西勝さんの「自白」の信用性を否定しました。奥西勝さんが「毒物混入時にはずし、落ちてそのままにしておいた」とするぶどう酒の「封かん紙」や「王冠」は、実はしっかりとぶどう酒ビンにはめられていました。このように重要な証拠が間もなく事件発生から60年になろうとするこの事件で隠されていたことは全く許せません。

検察官は、その他の未提出証拠の存在を否定していますが、そんなことは到底信じられません。

貴裁判所が、率先して検察官が隠す証拠を全面開示させ、「無辜の救済」という再審の理念・役割をしっかりと自覚し、新証拠に真摯に向き合い、早期に再審開始を決定されることを強く求めます。

ひとこと

住所：〒

氏名：

4 6 0 8 5 0 3

名古屋市中区三の丸1-4-1

名古屋高等裁判所刑事第2部 御中